

1 プログラムの提出方法

1.1 プログラムの提出先

作成したソースファイルのみを

```
https://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/report/
```

から提出する。その際には、プログラムが存在するコンピュータ（実習用コンピュータ）で Web ブラウザを起動する必要がある。実習用コンピュータでは w3m というブラウザが使える。X Window System が動いているならば、`firefox -no-remote &` を実行して Mozilla Firefox でのプログラム提出もできる。

1.2 w3m (テキストベース Web ブラウザ) の使い方

1.2.1 起動法

```
w3m [URI または file] 1
```

例) `w3m https://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/report/`

送信ファイル名記入時の誤りを防ぐために、w3m はソースファイルが存在するディレクトリで起動するのがよい。

1.2.2 操作法

q または Q	終了
<TAB>	次のリンクにカーソル移動
<ENTER>	カーソル位置のリンクページ閲覧やフォームの記入等 (GUI ブラウザでの左クリックに相当する操作)
CTRL-c	操作の中断
B	現在表示中のバッファを削除 (「前のページに戻る」的操作)
H	ヘルプ画面の表示
U	URL を指定してページを表示
o (小文字のオー)	設定変更画面を表示

カーソル移動や画面の上下移動等の操作には `less`, `emacs`, `vi` 流のコマンドが利用可。画面の乱れは `CTRL-l` で直せる。その他のコマンドについては、ヘルプ画面や `man` ページを参照のこと。

w3m はファイル名の入力誤りを検知しないので、ファイル名の記入誤りを防ぐために、フォームへのファイル名入力では <TAB> によるファイル名の補完を使う こと。

1.2.3 SSL の設定 (参考)

プログラム提出先のページへのアクセスで警告が出る場合、以下の設定を一度行う必要がある。

1. o (オー) コマンドで Option Setting Panel を表示
2. 画面下部の「SSL の設定」の「SSL のサーバを行う」を NO に変更し、[OK] 欄で <ENTER> を押す。

¹コマンドラインオプションを付けて w3m を起動することもできる。詳細は `man w3m` を実行のこと。